

令和8年度 施政方針

3月5日に開会した町議会定例会で、麻生町長が令和8年度の所信を表明。町政運営の基本方針と今後の主な取り組みについて述べました。



芝山町長
麻生 孝之
ASOU TAKAYUKI

昨年11月の町長選挙において、多くの町民の皆さまからご支援をいただき、再び町政を担わせていただくこととなりました。改めて心より感謝申し上げます。新年度を迎え、本格的に2期目の町政運営が始まりました。町民の皆さまの生命と財産を守り、安全・安心な暮らしを確保するとともに、不安や課題を夢や希望へと変え、次の世代へこの町をつないでいく。その思いを胸に、町政運営に全力で取り組んでまいります。

町制70周年の節目を越えて

芝山町は昨年、町制施行70周年という大きな節目を迎えました。式典やはにわ祭、文化やスポーツなど、さまざまな記念事業を通じて、多くの町民の皆さまとともに節目の年を祝うことができました。これらの記念事業も3月をもって一区切りとな

り、これまで芝山町を支えてこられた先人の皆さま、そして地域の皆さまのご尽力に、改めて深く感謝申し上げます。70年の歩みを大切に受け継ぎながら、芝山町は新たなステージへと進んでいきます。

空港とともに広がる町の未来

芝山町は現在、大きな転換期を迎えており、成田空港の機能強化や『新しい成田空港』構想とりまとめ2・0、『SORA TO NRTエアポートシティ構想』など、いわゆる「第2の開港プロジェクト」が進められています。また、圏央道の整備も着実に進み、本年秋頃に大栄ジャンクションから多古インターチェンジまでの開通が予定されています。空港や高速道路といった国家プロジェクトの進展は、本町の発展に大きな可能性をもたらします。

そして成田空港は開港から48年を迎えます。「空港ができて何も変わっていない」という声を耳にすることもあります。しかし、10年後、20年後に「空港があつてよかった」と町民の皆さまに実感していただけるまちづくりも私の使命です。現在はまだ成果が見えにくい部分もありますが、まちづくりは着実に前へ進んでいます。

主な取り組み

今年度は、空港機能強化に伴うまちづくりを中心に、さまざまな施策に取り組みます。小池地区土地区画整理事業や関連する道路整備、簡易水道事業など、生活や産業を支える基盤整備を進めていきます。また、今後の道路整備や産業誘致が円滑に進むよう地籍調査事業を推進します。

- ・**農業** 今までの果菜類病害虫対策支援事業の課題を整理し、新たに「園芸高温対策等支援事業補助金」を創設しました。
- ・**防犯** 家庭用防犯カメラ設置補助を継続するとともに、地域を対象とした防犯カメラ設置支援を新たに実施し、安全で安心して暮らせる地域づくりを進めます。

- ・**教育** 学校のICT環境整備として電子黒板の導入を進め、子どもたちの学習環境の充実を図ります。

- ・**公共交通** あいあいタクシーの多古町の利用範囲を拡充し、医療機関に加えて金融機関やスーパー、バスターミナルなど生活に必要な施設への利用が可能となるよう、利便性向上に取り組みます。

次の時代へつなぐまちづくり

さらに、芝山町岩山地区では航空関連産業の拠点整備に向けた検討が進められており、新たな雇用の創出や地域経済の活性化が期待されています。本町でも「エアポートシティ推進室」を新設し、県や国、空港会社、民間企業と連携しながら取り組みを進めていきます。

今後は都市計画マスタープランの見直しや総合計画後期基本計画の策定も予定しており、芝山町の将来を見据えたまちづくりの方向性を示していきます。町民の皆さまの声を大切に受け止めながら、これからもよりよい芝山町を築いてまいります。